



置農フライド

置農ふれあい通信

【学校スローガン】

「命」を育み、「心」を育み、「人」を育む。

『トピックス』

「たぶん8年ぶり？」多くの職員が思い出せないほどの快挙です。安部尋選手（食料環境科3年）が「東北地区高等学校総合体育大会陸上競技女子やり投げ」の出場権を獲得しました。



Ⅰ 東北高等学校陸上競技大会に出場！

安部尋選手が女子やり投げに出場しました。この大会は彼女の競技人生で1番の大舞台。当日は向かい風が強く吹く悪コンディションの中、少し苦戦しながらも持前の強い精神力を発揮して最大限の力を出し切ることができました。残念ながら全国大会出場は果たせなかったものの、多くの他県代表選手を上回る記録を残せたことは、今後の人生の大きな支えになることでしょう。

陸上競技部は、技術向上や課題解決に向けて学年を超えてアドバイスし合うなど切磋琢磨し合いながら日々の活動に励んでいます。この快挙は本人の努力に加えて、楽しく充実した時間を日々共有しようとしている部員全員で勝ち取った結果でもあります。先輩方が築いてきた素敵な贈り物（環境）をしっかりと受け継ぎ、自分の可能性に蓋をせず、一層前向きに思い切ってやっていきましょう！



【目次】

- 1 東北高校総体（陸上）
- 2 農業クラブ意見発表会
- 3 進路ガイダンス
- 4 選挙出前講座
- 5 畜産部門の頑張り
- 6 置農の地域貢献活動
- 7 学校評価会①
- 8 インターハイ出場確定（ホッケー）
- 9 置農植物園
- 10 YouTube
「置農チャンネル」
- 11 編集者コラム

2「意見発表会」で刺激し合う人たち。

農業クラブ活動では全国につながる学習成果発表機会が数多く計画されています。その皮切りとなる「校内意見発表会」を勝ち抜いた池内春日君(L3)、高橋さくらさん(G3)、羽島実乃里さん(E3)、泉谷海佑さん(E2)の4名が県大会で想いを熱く語ってきました。残念ながら東北大会進出は果たせませんでしたが、「発表内容は自分の方が優れていた。」「表現力は負けていなかった。」など、当日抱いた大きな充実感を皆報告してくれました。

一番になりたい、負けたくないという強い想いこそ成長の原動力です。参加者たちはそのことを心底実感したのではないのでしょうか。「この子は家でも一生懸命練習しました。そのことが何より嬉しい。」見送りされていたお母さんの言葉が胸にしみ、教育の喜びを実感できた一日でした。

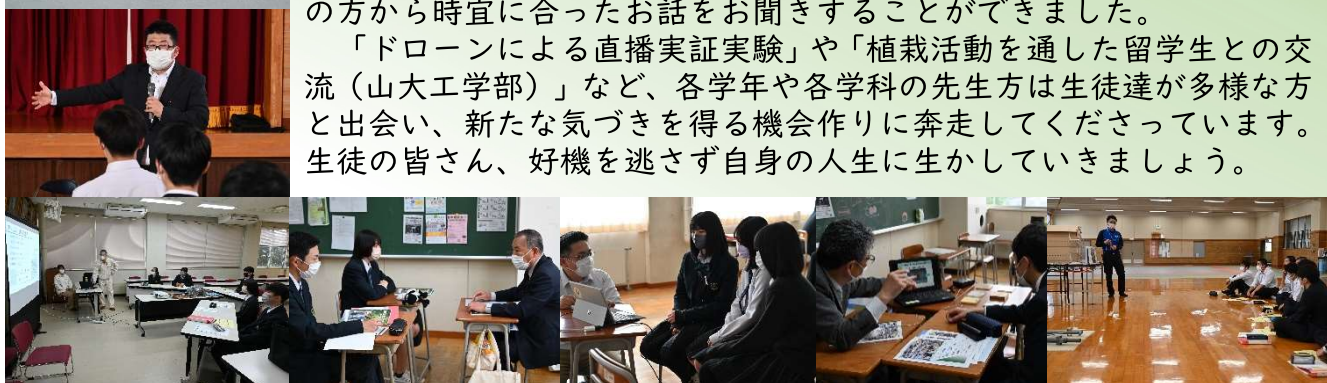


3「進路ガイダンス」で未来を拓く人たち。

可能性に蓋をしない生き方
～人との出会いで人生は変わる～
キャリアプロデュース株式会社
桑名 暢(くわなとおる)

「可能性に蓋をしない生き方」。御指導頂いた桑名先生のお話は高校生活にようやく馴染んできた1年生にとってとても刺激的だったようです。正に貴重な「人との出会い」だったのではないのでしょうか。また、2年生も3年生も様々な目的を掲げた進路ガイダンスを開催し、多くの方から時宜に合ったお話をお聞きすることができました。

「ドローンによる直播実証実験」や「植栽活動を通じた留学生との交流(山大工学部)」など、各学年や各学科の先生方は生徒達が多様な方と出会い、新たな気づきを得る機会作りに奔走してくださっています。生徒の皆さん、好機を逃さず自身の人生に生かしていきましょう。



4「選挙出前講座」で成人化する人たち。

いよいよ「18歳成人制」が施行されました。全国的な年齢構造のいびつ化の影響もあり、18歳、19歳の若者に対する社会的期待が日々高まっています。「18歳選挙権」が既に定着しており、成人としての責任と社会貢献が一層求められ、同時に消費者としての自覚が必要と指摘される中、本校3年生は5月末現在49名中9名が成人になりました。

各種契約の際に「未成年保護条項」が適用されなくなることから、より慎重かつ適格に判断しなくてははいけません。何事も初めのうちは危険が伴いますが、校内外で多くの方が見守り支えてくださっています。3年生の皆さんは適度に恐れつつ、安心して大人の仲間入りを果たしてください。



5 牛や鶏など動物と共生する人たち。

近いところでは2019年度「東日本乳牛品評会グランドチャンピオン」など輝かしい実績を数多く残し、近隣児童に「動物ふれあい体験」の場を提供するなど地域貢献にも取り組んでいる畜産部門。今年度は「全日本和牛能力共進会（10月、鹿児島県、育成牛の能力を競う大会）」での上位入賞も目指し、生徒と職員が一丸となって調教に汗を流しています。

そのような中、「山形県学校農業クラブ家畜審査競技会（牛の質を審査する能力を競う大会）」に参加した池内春日君（L3）が全国大会出場権を兼ねた最優秀賞を獲得しました。「牛を見る目」が県内高校生の中で一番優れていると認められた池内君は「日本一の牛飼い」になることを高らかに宣言するほど大きな志を抱いた好青年です。



6 地域の役に立とうと励む人たち。

皆さんは「YY ボランティア」をご存知ですか。「YY」は「山形、ヤング」の略称で、凡そ50年前、西川町の高校生が夏休み期間中に企画した近隣児童の「早朝ランニング会」を起源とする高校生ボランティア活動です。当時は各市町村の公民館等を拠点に100以上の高校生サークルが所属高校の枠を超えて活発に活動していましたが、現在は残念ながら多くのサークルが消滅したり休止状態になってしまったりしています。

一方、校種を問わず学校による地域活動が年々増えています。本校も多様な地域貢献活動機会を設定しており、「こまつ市」等での農作物や加工品の販売、児童への食育活動や農作業体験機会提供などは生徒自身がとても楽しみにしていますので、お見かけの際はぜひお声がけください。



7 学校評議員会が開催されました。

6月15日（水）。「学校評価アンケート①の結果」と「学校経営方針」をご説明し、令和6年度からの学校教育計画（新教育課程等）や部活動の在り方、1年生の学科混合学級制度など本校が抱える多様な教育課題についてご意見を頂戴しました。

新教育課程については、「多様な進路希望の実現に向けた進路別選択科目」中に「マーケティング」や「気象」に係る学校設定科目を設けること、混合学級制度については、多様な仲間と関われる交流機会として期待されることなど、校内議論活性化に向けて有為なご意見を多数頂戴することができました。教育活動の充実に向けて一層邁進してまいります。



8 インターハイ出場権を獲得！

6月17～19日、ホッケー部は全国高校総体東北地区予選大会において長く苦しい戦い（計5試合）に臨みました。今年度初遠征でもあり、選手には様々な不安があったと思います。初戦の前半、相手の猛攻で2失点。しかし、後半は無失点に抑え、0-2で負けたものの「伝統の粘り強さ」を実感し、かえって大きな自信を手に入れることができたようです。



その後も気迫溢れるプレーを連発。5年連続23回目の「インターハイ出場権」を獲得することができました。先の不安を指導陣も抱いていた中での快挙は本当に素晴らしい。マネージャーを含めた選手たち、指導者全員がチームや個人の無限の成長を見据えて胸を膨らませているところです。

皆様も彼らの成長と活躍にご期待ください。

9 「置農植物園」の草花と昆虫

創立100周年を記念して竣工された「資料館」南側に立派な「ビオトープ」があり、食料環境科生徒を中核として大切に保全されています。往時は現在の昇降口前ロータリーまで広大な植物園があり、地域の方々からも親しまれていたとのこと。羽越水害（1967）で大きな被害を受け、残念なことに規模が縮小されてしまったそうです。多くの方に愛されてきた「置農植物園」を先輩方の熱い想いと共に今後とも大切にしていまいます。



10 「置農チャンネル」大好評!!

学校HP (<http://www.okitama-ah.ed.jp>) に加えてYouTube（「置賜農業高等学校」で検索または右QRコード）でも情報発信しています。農業の楽しさと本校の魅力を、ご体感ください。



【編集者コラム】・・・卒業生も大きく羽ばたいています・・・

「教育実習についてお聞きしたいのですが」東京農業大学3年生の卒業生から問合せがありました。来年本校に凱旋して直後に教員採用試験を受験、令和6年度新規採用教員としての採用を目指すことが一般的な流れであり、その先輩は着実に歩みを進めています。

また、「新潟大学農学部に進学した先輩が『学業成績優秀者奨学金(各学部3名)』を授与された。」との朗報も。就職した先輩も進学した先輩も「質実剛健、誠実明朗、実践奉仕」の校是を胸に皆各地で精一杯頑張っています。

今後の予定

【7月】

- 7 木 クラスマッチ
- 12 火 薬物乱用防止講話
- 14 木 農業鑑定競技会②
- 23 土 オープンスクール
終業式・生徒集会
- 25 月 代休（7/23 土）
- 26 火 応急処置講習会（職員）
- 29 金 進学希望者模擬試験

【8月】

- 5 金 3年生登校日①
- 11 木 学校閉庁日（～16 火）
- 17 水 進路検討委員会
- 18 木 3年生登校日②
- 22 月 始業式